

KONAN GAKUEN

甲南学園中期計画 (2020～2025)

Version 3.0

2022年5月27日更新

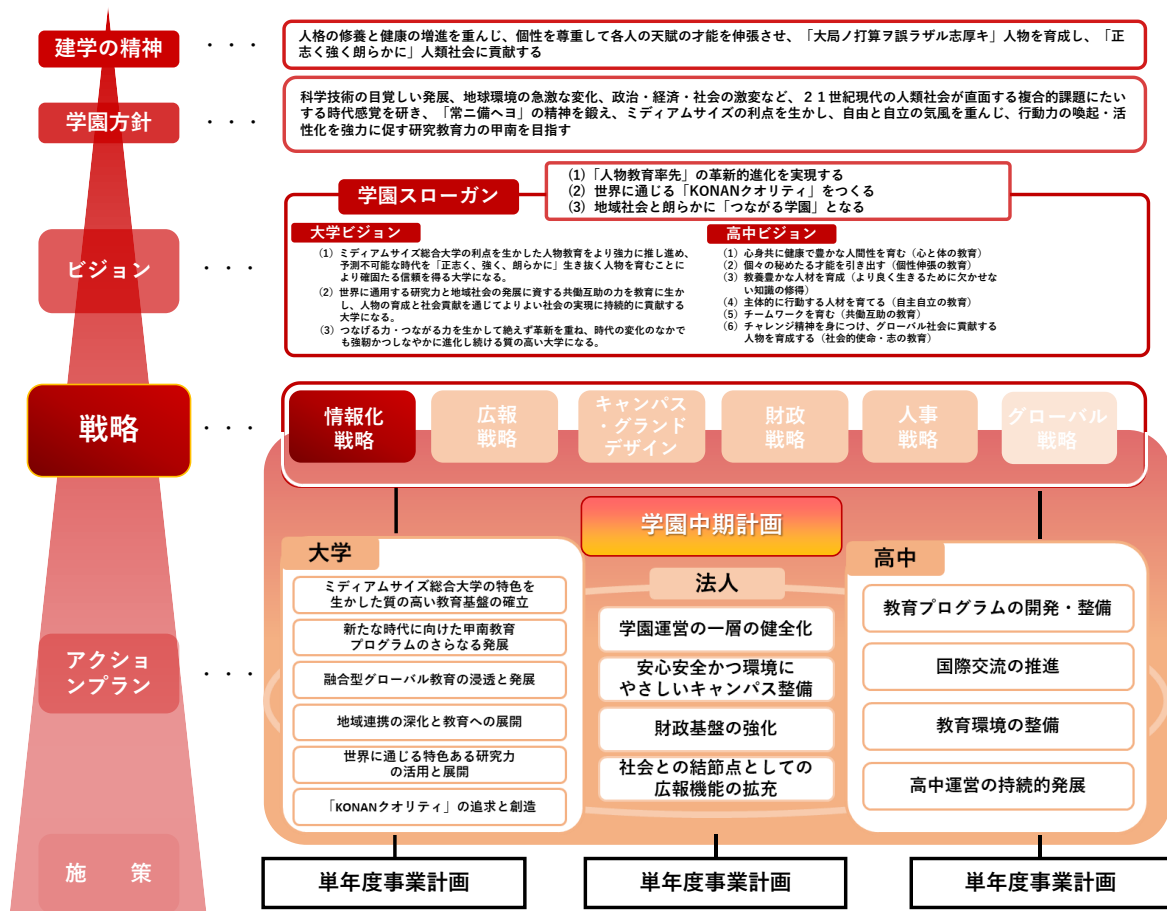


甲南学園は2019年に創立100周年を迎えました。

甲南学園中期計画（2020～2025）の推進にあたって

甲南学園 理事長 長坂 悦敬

甲南学園は、2019年4月21日に学園創立100周年という大きな節目を迎え、甲南新世紀に入ることができました。多くの方々の支え、ご協力に深く感謝いたします。この100年間、常に変わらず、創立者平生夙三郎の建学の精神”人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の才能を伸張させ、「大局ノ打算ヲ誤ラザル志厚キ」人物を育成し、「正志く強く朗らかに」人類社会に貢献する”を実現すべく学園に関係する多くの方々の努力が積み上げられてきました。そして、2020年3月27日、甲南新世紀において改めて学園方針を定め、「甲南学園中期計画(2020～2024)」を立案、決定、公開し、2021年に大学・高校のビジョン・アクションプランを更新しました。さらに、大学の中期計画であるKONAN U.VISION 2025と計画期間を合わせ、「学園ガバナンスの更なる強化」や「機能別横串戦略」を推進するため、中期計画の期間を1年間延長し2020～2025年度としました。



中期計画に明記された「科学技術の目覚しい発展、地球環境の急激な変化、政治・経済・社会の激変など、21世紀現代の人類社会が直面する複合的課題にたいする時代感覚を研ぎ、「常二備へヨ」の精神を鍛え、メディアムサイズの利点を生かし、自由と自立の気風を重んじ、行動力の喚起・活性化を強力に促す研究教育力の甲南を目指す」という学園方針を確実に実現していくため尽力いたします。

「甲南学園100年のあゆみ」(2019年4月19日発行)では、「人物教育」のパースペクティブ”として、平生夙三郎の言葉、「学校教育の本来の主旨は何なるやというに、小にしては一身一家一族のため、

大に於ては人類社会国家に貢献し得る人物を造るに在りと信ず。」を引用し、「正直、誠意、公平は言うまでもなく「熱血」とまで表現する「知力、胆力、勇気」そして「忍耐」「共働互助」の精神を有した人物を育てるために、教職員もまたそうでなければならない。学園創立 100 年にあたって個人個人の天賦の特性を引き出すという「人物教育」がいわゆる「人間として人間らしい人間をつくる」という単純明快なことながら、大きな環境の錯綜する変化のなかでこれをどのようなものとして実現していくか、平生精神を託されたすべての甲南人にとっての一大テーマである。」と宣言しました。

コロナ禍という難局に懸命に対応しつつ、甲南学園中期計画を推進するために、すべての教職員は、「**平生フィロソフィ**」（平生の人生全体を貫く基本的な考え方）という原則を大切に、各自の仮説をもって（意見をもち、その根拠をもつ）、共働互助を図りつつ、できるかどうか判断するのではなく、主体的にどう実行するかを考え、行動いたします。

甲南学園中期計画で達成したいことは以下のようにまとめられます。すなわち、これからの時代にますます重要な意味をもつ「**平生フィロソフィ**」のもと、大学においては中井伊都子学長を中心に KONAN U. VISION2025 に向かいつつ、高等学校・中学校においては山内守明校長を中心に将来構想を念頭に、学園すべての教職員、そして卒業生をはじめ関係する多くの方々とともに「**人物教育率先**」を進化させる学園中期計画の実現に向けて束になって進みます。そして、教育・研究・事務業務・教職員マインド・振る舞い・キャンパス・ファシリティなど学園のすべてにわたる「**KONAN クオリティ**」をさらに高めていくことで、学生・生徒・留学生、ご家族の皆さん、教職員、卒業生、海外協定校、地域・社会・企業の方々「**つながる学園**」を実現できるように、「**正志く 強く 朗らかに**」尽力いたします。これからの甲南学園の取り組みにご理解とご支援をいただけましたら幸いです。

2022 年 5 月 27 日更新

甲南学園中期計画で達成したいこと

「平生フィロソフィ」のもとで、

「人物教育率先」の進化

- ・人物教育のクオリティ・リーダー
 - ・ミディアムサイズ総合大学の進化
 - ・甲南中高大一貫教育の進化
- など

世界に通じる「KONANクオリティ」

- ・変化に対応できる強靱な組織体制
 - ・KONAN-DX
 - ・安心安全かつ環境にやさしいキャンパス
 - ・KCPによるリスクマネジメント体制
 - ・健全な財務体質
- など

地域社会と朗らかに「つながる学園」

- ・卒業生・社会との結節点
 - ・高度な研究機能・地域貢献
 - ・募金活動の活性化・多様化
- など

DX（Digital Transformation）：「働き方改革」を含む
KCP（KONAN Continuity Plan）：「常二備へ3」への施策

甲南学園中期計画(2020～2025) アクションプラン(2022年更新)

大 学 ※1	<p>ミディアムサイズ総合大学の特色を生かした質の高い教育基盤の確立</p> <p>①学生の確かな成長につながる教育活動の体系的な充実・発展</p> <p>②入学から卒業までの学生の成長を支える連携体制と環境の充実</p> <p>③学修者本位の教学マネジメントの徹底</p>	<p>地域連携の深化と教育への展開</p> <p>①「人物教育」の一環としての地域連携教育の充実</p> <p>②幅広い世代を対象とした地域連携・社会貢献活動の展開</p> <p>③地域連携センターの組織体制の強化</p>
	<p>新たな時代に向けた甲南教育プログラムのさらなる発展</p> <p>①専門教育の質の向上・特色化と一体的な共通教育の整備・充実</p> <p>②予測不可能な時代に向けた新たな教育への挑戦</p> <p>③リカレント教育の推進と世代を超えた学びの場の創出</p>	<p>世界に通じる特色ある研究力の活用と展開</p> <p>①世界に通じる特色ある研究力の積極的な教育への反映</p> <p>②研究力の可視化と産学連携の推進</p> <p>③研究推進体制の充実・強化と適正な管理運営</p>
	<p>融合型グローバル教育の浸透と発展</p> <p>①融合型グローバル教育の特色を発揮した各種取組みの充実・魅力化</p> <p>②キャンパスのグローバル化</p> <p>③グローバル教育推進体制の充実・強化</p>	<p>「KONANクオリティ」の追求と創造</p> <p>①ブランディング戦略の策定と実践</p> <p>②高大接続活動の発展と情報発信・コミュニケーションの強化</p> <p>③「常に備えよ」の教えを生かした体制づくりの推進</p>
高 中 ※2	<p>教育プログラムの開発・整備</p> <p>①カリキュラムの再構築</p> <p>②教育研究部による徳育教育、情操教育の開発</p> <p>③学習遅延者に対する学習支援プログラムの整備と学力の定着</p> <p>④図書館・情報科による情報活用能力の定着</p> <p>⑤OBの協力を得たキャリア教育の推進</p> <p>⑥体育プログラムの開発</p> <p>⑦学校行事の内容点検および整理・開発</p>	<p>国際交流の推進</p> <p>①海外の高校・中学との姉妹校締結と海外交流プログラムの整備・拡充</p> <p>②海外大学との交流</p> <p>教育環境の整備</p> <p>①アクティブラーニングとAV・ICT環境の整備</p> <p>②教務部・教育研究部・進路指導部によるカリキュラム整備と学力の定着</p> <p>③多様な進路に対応するeポートフォリオシステムの構築</p> <p>高中運営の持続的発展</p> <p>①コース制の発展・充実および生徒数確保のための入試改革の実施</p> <p>②校務分掌の改編による教員組織の活性化</p>
	<p>学園運営の一層の健全化</p> <p>1. 学園教育機能充実のためのガバナンス体制の点検・整備</p> <p>①理事会による学園（大学・高中・法人）の諸課題の整理と改善策の検討</p> <p>②全学教育推進機構を中心とした革新的共通教育の推進を支える体制の整備</p> <p>③修学支援制度の運用・整備に応じた学園内奨学金制度の再編</p> <p>④人物教育率先の一環としての課外活動の健全化と活性化</p> <p>⑤私立学校ガバナンス改革の動きを踏まえた学園ガバナンスの強化 ※3</p> <p>2. 高等教育機関としての研究機能向上と社会・地域への貢献</p> <p>①各研究所と地域連携センターの機能・成果の評価</p> <p>②研究奨励のための基金の充実</p> <p>③各種研究費の公正活発な利用制度の確立</p> <p>3. リスクマネジメント体制の強化</p> <p>①自然災害・社会災害・パンデミック発生時に備えた対応策の検討</p> <p>②コンプライアンス違反への対応と防止体制の確立</p> <p>③サイバーセキュリティ対策の強化</p> <p>4. 強靱な組織体制の構築と整備</p> <p>①高度化する業務への対応強化</p> <p>②業務の電子化推進等による労働生産性の向上</p> <p>③教職員の健康増進と福利厚生を目的とした新制度の整備</p>	<p>安心安全かつ環境にやさしいキャンパス整備</p> <p>①耐震化率100%の達成と老朽化施設設備の改修計画の策定及び実行</p> <p>②エネルギー消費原単位の年間1.5%削減に向けた計画立案</p> <p>③誰もが使いやすい施設設備の整備</p> <p>財政基盤の強化</p> <p>1. 健全な財務体質の維持・向上</p> <p>①業務の効率化を含めた人件費及び委託業務支出の総額管理</p> <p>②中期計画と事業計画が連動した全学的な予算PDCAサイクルの構築</p> <p>③減価償却累計額の30%以上の再投資資金の積立</p> <p>2. 学納金収入以外の財源多様化の推進</p> <p>①安全な運用方針に基づく資金の運用</p> <p>②募金活動の活性化・多様化</p> <p>③施設利用・補助活動収入の増加策の検討</p> <p>社会との結節点としての広報機能の拡充</p> <p>①芸術活動・スポーツへの協賛などの地域創生への参画</p> <p>②卒業生・同窓会組織との連携</p> <p>③甲南の持つ歴史的・文化的資産の再評価と社会への発信</p> <p>④全学的な広報活動の推進 ※3</p>
法 人		

Ver1.0作成(2020年7月31日)

※1 KONAN U.VISION 2025の策定に伴い、大学関係のアクションプランを更新(2021年3月26日)

※2 甲南高中将来構想委員会提言に伴い、高中関係のアクションプランを更新(2021年7月30日)

※3 学園中期計画の期間延長及び法人中期行動計画の更新に伴い、法人関係のアクションプランを更新(2022年5月27日)

